

- 平成22年5月、豊四季台団地とその周辺地域において、「住み慣れた場所で自分らしく老いることのできるまちづくり：Aging in Place」の提案と実践を目指し、東京大学高齢社会総合研究機構、(独)都市再生機構、柏市の三者で研究会を設け、協定を締結。
- 平成27年5月、生活支援サービス等新たに2項目を連携事項に追加の上、協定をさらに3年間延長。
- 平成30年5月、協定締結から10年の節目を見据え、これまでの取組みの定着を図りつつ、さらなる取組みの強化を図ることを目的として、協定をさらに3年間延長。



(平成27年5月の協定延長の様子)

当初協定の主な連携事項

平成22年5月から5カ年

- 1 在宅医療の推進
- 2 在宅医療を担う医療・介護職の育成
- 3 生きがい就労・生きがい支援
- 4 生涯学習
- 5 高齢者等の住宅
- 6 移動手段
- 7 その他、必要と認める事項



変更後の主な連携事項

平成27年5月から6カ年

- 1 在宅医療の推進
- 2 在宅医療を担う医療・介護職の育成
- 3 生きがい就労・生きがい支援
- 4 生涯学習
- 5 高齢者等の住宅
- 6 移動手段
- 7 **生活支援サービス**
- 8 **健康づくり・介護予防**
- 9 その他、必要と認める事項

柏市豊四季台地域高齢社会総合研究会の今後の主な取組み

在宅医療の推進

- ・ 在宅医療に参入する医師を更に増やすための取組み、訪問看護ステーションの基盤強化、多職種連携の質の向上を目的とした研修会等の開催
- ・ 在宅医療をイメージしやすいような情報の発信（「在宅医療見える化プロジェクト」）等

モデル拠点の整備

- ・ 「第7期高齢者いきいきプラン」に基づき、日常生活圏域ごとに24時間・365日対応の「在宅医療・介護サービス拠点」の整備 等

生活支援

- ・ 地域で活動する住民や地域の事業者と連携した、具体の活動の創出等、地域の支えあい体制の構築
- ・ 豊四季台での取組み成果を、市内全域に展開 等

社会参加

- ・ 生涯現役促進協議会を中心とした関係機関の連携による、年齢に関わらず多様な就労・地域貢献・社会参加を可能とするシステムの構築
- ・ 高齢者の欠食防止と生きがい就労の場、そしてコミュニティ形成の場としての機能が期待されている「コミュニティ食堂」の具現化にむけた取組みを加速 等

健康づくり・介護予防

- ・ フレイルチェック講座及びフレイル予防活動で得られた住民の意識変容や行動変容に関するデータ等をもとに、フレイルチェックの活動に参加した住民がフレイル予防につながる具体的な活動に継続的に参加していく仕組みの構築
- ・ 個々人の状況や課題に応じた多様なフレイル予防活動が地域で展開されるよう地域での多様な介護予防活動の開催を支援 等